

全 国 数 学 教 育 学 会
第 25 回 研 究 発 表 会
プ ロ グ ラ ム

日 時:平成19年1月27日(土)、28日(日)
場 所:奈良市中部公民館(奈良教育大学)

※ 1件の研究発表の時間は、30分(発表20分、質疑応答10分)です。

<第1日> 1月27日(土)

	A会場 4F第1講座室	B会場 4F第2講座室	C会場 4F第3講座室	D会場 4F第4講座室	F会場 3F視聴覚室
13:30 14:00	1.山形俊介(奈良教育大学大学院生) 数学学習における発展的な考え方の育成の研究(2)～発展的な学習に着目して～	1.伊達文治(広島大学大学院生) 数学教育における文化的価値に関する研究－和算の特質と西洋数学の受容－	1.生田泰之(広島大学大学院生) 数学教育における創造性の育成に関する研究	1.高本誠二郎(上越教育大学大学院生) 小学校算数から中学校数学への接続を促す学習指導に関する研究～中学校1年「平面図形」の単元開発～	1.川本正治(広島大学大学院生) 工学技術者を育成するための数学教育のあり方－工学を学ぶ上で必要な概念のイメージ化を図る教材開発～
14:00 14:30	2.佐藤彦彦(上越教育大学) 生徒の目的意識の形成を図る数学の授業構成に関する研究	2.木根主税(広島大学大学院生) 開発途上国の数学教育における「学習教授軌道」の考察－南アフリカ共和国「COCAプロジェクト」を通して－	2.伊東浩一(奈良教育大学大学院生) 数学科における有用性の研究－問題づくりを通して－	2.矢野愛子(宮崎大学大学院生)、藤井良直(宮崎大学) 「宮崎県数学一斉テスト」に基づく中学生の学習到達度に関する継続的分析	2.村上眞治(広島大学大学院生) 「小数」がもつ教材としての豊かさ(可能性)について
14:30 15:00	3.田崎祐希子(奈良教育大学大学院生) 児童の主体化を促す算数科授業における指導に関する研究－学習活動の必然性を意識させる－	3.Ogwel, Joseph Carilus Ateng(広島大学大学院生) Interactive Learning of Mathematics in Secondary Schools: Some Conclusions from Lessons on Similarity of Figures	3.垣水修(新潟大学) 立体のとりがり度－立体感の獲得と立体観の変換－	3.瀬沼花子(国立教育政策研究所) 「読み」と算数・数学の学力はどう関係しているか－16年間の経年変化を中心に－	3.山口清(元広島大学) 分数の演算とその図解
1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 1 0 休 憩					
15:10 15:40	4.小平美夏(上越教育大学大学院生) 教科書の効果的な活用を目指した問題解決的な授業に関する研究～モデルの相互作用の視点から～	4.Aruna Chen(広島大学大学院生) Developing Mathematical Attitude of Students in terms of "What-if-not"	4.高井吾朗(奈良教育大学大学院生) 算数作文から見るメタ認知の変容に関する研究(2)－算数作文に影響する要因分析－	4.山田篤史(愛知教育大学)、清水紀宏(福岡教育大学) 数学的問題解決における自己参照的行動に関する研究:「じゃんけん問題」解決終了後のふり返し活動による解法の質的变化について	4.中平晃(高知県須崎市立横浪小学校) 「パターンの科学としての数学」-日本版『数の本』(未完成)からの検討-解法の質的变化について
15:40 16:10	5.清水浩士(広島大学大学院生) 数学の発展的学習における問題づくりに関する研究－生徒の数学的理解と問題づくり－	5.JONGJAISURATHUM, SALINEE(広島大学大学院生) Mathematical Problem Solving: The Aspect of Knowledge Construction at Lower Secondary Level	5.高藤大輔(兵庫教育大学大学院生) 算数学習における自己調整能力の育成	5.真野祐輔(広島大学大学院生) 数学学習における概念変容の特徴づけに関する一考察	5.片岡啓(大阪府立吹田高等学校) 旧制中学から戦後に至る『作図問題』の指導
16:10 16:40	6.佐々祐之(鹿児島大学) 複式学級の特性を生かした算数科授業デザインに関する研究～学習活動における児童の相互作用の様相に着目して～	6.石田真実(広島大学大学院生) ザンビア基礎教育における図形概念の形成過程に関する研究	6.二宮裕之(埼玉大学) 数学教育におけるメタ評価に関する研究	6.山口武志(福岡教育大学)、岩崎秀樹(広島大学) 算数と数学の接続に関する教授・学習原理の研究(Ⅰ)－代数への展開－	6.中西隆(滋賀県立長浜高等養護学校) 戦前・戦後の「歩合算の応用」の類似性について－時代背景と「間テクスト性」の観点から－

16:45～17:45 開会式・開会行事・学会賞授与式(予定):(G会場、5Fホール)

18:00～20:00 懇親会:百楽奈良店<奈良近鉄ビル8階>

<第2日> 1月28日(日)

A会場 4F第1講座室		E会場 3F第2会議室	F会場 3F視聴覚室	G会場 5Fホール
9:00 9:30	7.池田誠 (広島大学大学院生) 数学的な考え方を重視する中学数学の指導に関する研究(V)―「論証の導入段階」における実践的検討―		7.阿部好貴 (広島大学大学院生) 数学的リテラシー育成を目標としたカリキュラムの構築に向けた基礎的研究(3): 数理化を鍵概念として	1.松浦武人 (広島大学大学院生) 初等教育における児童の確率概念の発達を促す学習材の開発～共通概念経路に基づく学習指導と評価～
9:30 10:00	8.末廣真人 (鹿児島大学大学院生) 生徒に証明の意義を理解させるための教授・学習過程		8.針原謙一 (鹿児島大学大学院生) 中学校数学における数学的モデリングに関する研究～「2乗に比例する関数」の授業実践に関する一考察～	2.菅野栄光 (愛知県立半田高等学校) 高等学校におけるディベートを活用した統計教育―総合的な学習の時間および情報科と連携して―
10:00 10:30	9.福本稔 (兵庫教育大学大学院生) 教授学的契約を視座とした証明の教授と学習についての考察		9.長谷川勝久(九州女子短期大学)、齋藤昇(鳴門教育大学) 学校数学における形成的評価のための問題分類モデルの構築	3.岩崎浩 (上越教育大学) 確率の意味の活動的・体験的理解を図る授業の開発研究―教室における確率の意味の発生と展開―
10:30～11:00 休憩				
10:40 11:10	10.平岡賢治(長崎大学)、宮内(吉田)香織(長崎大学) 算数・数学的活動の視点に立った授業理解に関する研究(2)		10.板垣元一 (上越教育大学大学院生) 中学校における空間図形指導の改善に関する研究	4.杉山佳彦 (北海道教育大学) 自然数の加法と累加としての乗法について―集合論の立場から―
11:10 11:40	11.秋田美代 (鳴門教育大学) 式の処理技能及び意味の理解と数学の学習に対する情意との関係―中学2年生を対象として―		11.新宅紀雄 (広島大学大学院生) 動的な見方を育成する図形学習のあり方について	5.今野達夫(日本大学)、佐藤憲一(日本大学) 平均値と中央値の学習上の問題点について
11:40 12:10			12.速水誠(広島大学大学院生)、今岡光範(広島大学) 多角形の内角・外角の和に関する考察―図形の組合せ的性質の視点から―	6.國本景竜 (高知大学) 生命論に立つ授業設計論(1)
12:10～13:10 昼休憩				
13:10 13:40	12.坂井武司 (兵庫教育大学) 子供の「割合」における概念獲得過程に関する研究(Ⅲ)―「1/2」を活用した類似探究授業の結果の分析と考察―	1.春名聡子 (広島大学大学院生) 数学科における証明の表記に関する研究(V)―中学校における証明の見通しを表記する活動―	13.柳健 (上越教育大学大学院生) 小学校算数の授業構成における図的表現に関する研究(3) ～認識論的三角形を視座とした授業分析を手がかりにして～	7.飯田慎司(福岡教育大学)、清水紀宏(福岡教育大学)、小山正孝(広島大学)、中原忠男(広島大学)、山口武志(福岡教育大学) 算数達成度に関する継続的調査研究(VI)―第6学年終了時の達成度に関する比較教育的検討―
13:40 14:10	13.渡辺信 (東海大学) 社会と学校との「架け橋」の可能性	2.鈴木敬介 (上越教育大学大学院生) 「式を読む」に焦点をあてた文字式の授業改善に関する研究(2)	14.影山和也 (愛知教育大学) 図形・空間学習における学習者の知識体系とその活性化に関する研究～知識体系の構成に向かう際の対象化の手段～	8.神原一之 (広島大学附属東雲中学校) 中学校数学科における探究の場の構成について―学習材の作成と活用を通して―

ディベート・フォーラム

テーマ
わかる授業とは何か

司会者
佐々木徹郎
(愛知教育大学・教授)

提案者
<チームA>
飯田慎司
(福岡教育大学・教授)
清水紀宏
(福岡教育大学・助教授)

<チームB>
國岡高宏
(兵庫教育大学・助教授)
山田篤史
(愛知教育大学・助教授)

14:20～16:10 ディベート・フォーラム、閉会式(G会場、5Fホール)